

# 藤野地区防災計画

令和5年3月修正

藤野地区自治会連合会  
藤野地区連合自主防災組織  
藤野地区単位自主防災組織

## 藤野地区防災計画【本編】 目次

1	藤野地区防災計画のねらい .....	1
2	用語の説明 .....	2
3	藤野地区における災害 ~ 藤野地区ではどんな災害の危険があるの? ~ .....	5
	土砂災害	
	大雪	
	○ 火山災害	
	地震	
4	災害時にどう動くか! .....	8
	土砂災害編 .....	8
	・藤野地区での役割分担（風水害時）	
	・災害時における情報の入手方法	
	・自治会館・集会所（風水害時避難場所）の開設方法	
	大雪編 .....	12
	地震編 .....	13
	・藤野地区での役割分担（地震災害時）	
	・安否確認・避難支援の方法	
	・南海トラフ地震臨時情報の内容に応じた防災対応	
5	日頃からの災害への備え ~ 災害による被害をなくすためには ~ .....	18
	(1) 自分の命は自分で守る「自助」の取組み .....	18
	(2) 自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の取組み .....	19
	(3) 災害の発生を想定した防災訓練の実施 .....	22
	(4) 継続的に藤野地区の防災力を向上させる取組み .....	25

## 1 藤野地区防災計画のねらい

災害は、人々の生命や財産を一瞬にして奪い去っていきます。

令和元年東日本台風の土砂災害では、藤野地区においても、多くの地域で山腹崩壊や斜面崩落、土砂流出などの被害が発生し、3人の尊い命が奪われました。

災害による犠牲者を出さないためには、地域で発生する災害や災害に備えて日頃からやっておくべきことなどを知っておくことが重要です。

この計画では、「藤野地区から災害による犠牲者を出さない」ため、日頃からの備えや、いざ災害が発生したときに、ご家庭や地域においてどのような行動をとればよいかなどをまとめました。ぜひご活用ください。

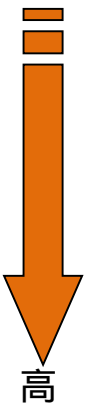
## 2 用語の説明

### 自助・共助・公助

種 別	意 味
自 助	自らの身は自らで守ること。 あなたが助かれば、周りの人を助けることができます。
共 助	自分たちのまちは自分たちで守ること。 隣近所や自治会、自主防災組織での活動などを言います。
公 助	消防、警察、自衛隊や市役所などの公的な対応のこと。

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防災の組織的対応のもとで、地域社会の中で防災という共通の目的を持って結成されているものです。単一又は複数の自治会で構成されています。

### 大雨に関する情報

気象情報	内 容	災害の危険度
大雨注意報	大雨による災害が起こるおそれがあるときに気象庁が発表する情報です。	 高
大雨警報	大雨による重大な災害が起こるおそれがあるときに気象庁が発表する情報です。	
土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに気象庁と神奈川県が共同で発表する情報です。 藤野地区は「相模原市西部」として発表されます。	
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想されるときに気象庁が発表する情報です。	
記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析したときに発表される情報です。 【基準：時間雨量 100mm】	

### 土砂災害に関する用語

	意 味
土砂災害	がけ崩れ、土石流、地すべりの総称です。
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	土砂災害が発生するおそれがあり、発生した場合に住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域です。
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)	土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

## 避難に関する情報

警戒レベル		種類	とるべき行動内容等
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁が発表)	防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める。
2	 気象状況悪化	大雨注意報 洪水注意報 (気象庁が発表)	ハザードマップの確認や避難情報の把握手段を再確認するなど、自らの避難行動を確認する。
3	 災害の おそれあり	高齢者等避難 (市が発令)	高齢者など、避難に時間がかかる人は危険な場所から避難する。その他の人も必要に応じ避難の準備や自主的に避難を行う。
4	 災害の おそれ高い	避難指示 (市が発令)	危険な場所から全員避難する。 (土砂災害は原則立退き避難。浸水区域は例外として屋内安全確保)
<b>&lt; 警戒レベル4までに必ず避難！ &gt;</b>			
5	 災害発生 又は切迫	緊急安全確保 (市が発令)	風水害時避難場所などへの立退き避難がかえって危険である場合に、緊急安全確保する。



・屋内安全確保...ハザードマップ等で自宅等の浸水想定等を確認し、上階への避難や高層階に留まることにより、計画的に身の安全を確保することが可能な場合の避難行動で少なくとも以下の3つの条件が満たされている必要がある。 家屋倒壊等氾濫想定区域(木造家屋が倒壊するような堤防決壊による氾濫流や、河岸が削られるような浸食が発生する区域)に存していないこと。 浸水しない居室があること。 一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障(水、食料、薬等の確保が困難になる。電気、ガス、水道、トイレ等が使用できなくなる。)を許容できること。

・緊急安全確保...適切なタイミングで避難をしなかった又は急激に災害が切迫する等して避難することができなかったことにより、災害が発生・切迫し、立退き避難を安全にできない可能性がある状況になってしまった時に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点にいる場所よりも相対的に安全である場所に直ちに移動すること。


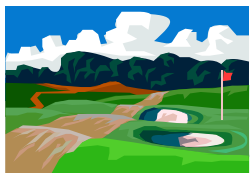

例) 崖から少しでも離れた部屋で退避したり、近隣の堅牢な建物に緊急的に移動する。

施設の名称

【風水害のとき】

名称	内 容	避難の流れ
風水害時 避難場所	大雨による土砂災害などから一時的に逃れるために避難する場所です。	
避難所	災害により家屋が倒壊したときなどに避難生活をする場所です。	

【地震のとき】

名称	内 容	避難の流れ
いっとき 一時避難場所	地震発生後、災害の推移を見守るため、地域住民が一時的に避難する場所です。 (空地、公園、学校等を各自治会が指定)	
広域避難場所	地震に伴う火災が発生し延焼拡大した場合、その地域内の住民が煙やふく射熱におかされることなく生命、身体の安全を確保できる広い場所です。	
避難所	災害により家屋が倒壊・焼失したときなどに避難生活をする場所です。	

【その他の施設】

名称	内 容
救護所	大きな災害が発生したとき、医師、看護師などが待機して応急手当など簡易的な処置をする場所です。
福祉避難所	避難所での生活に特別な配慮を必要とする人(高齢者、障害者など)を一時的に受け入れる施設です。(発災3日後を目途に運営体制が整った施設から順次、開設します。)



### 3 藤野地区における災害 ～藤野地区ではどんな災害の危険があるの？～

#### ～ 土砂災害 ～



- ・日頃は、美しい景色である山々も、ひとたび大雨が降ると土砂災害の危険性が潜んでいます。
- ・台風などが接近しているときは、情報入手、早めの避難行動を行うことが必要となります。

藤野地区では、**多くの地域が土砂災害警戒区域(土砂災害のおそれがある区域)**となっています。

大雨が降ると、**道路が通行止め**になる路線があります。

がけ崩れにより道路が寸断されると**集落が孤立**するおそれがあります。

台風などは事前の予測が可能のため、正しい情報を入手し、早めの避難を行うことで被害を防ぐことができます。

#### 【土砂災害の種類と災害が起こる前ぶれ】

種類	内容	災害が起こる前ぶれ
がけ崩れ	○急な斜面が突然崩れる。	がけから水がわき出る。 湧き水が濁る。 小石がパラパラ落ちる。 がけにひび割れができる。 地鳴りがする。
土石流	沢などに溜まった大量の土砂と水が一気に流れ出す。 強い力とスピードで進行方向にあるものをのみ込み、破壊する。	川の水が濁る。 流木が流れてくる。 川の水位が急激に下がる。 山鳴りがする。 腐った土のおいがする。
地すべり	広範囲の斜面が滑り出す。 一度に広範囲で起こるので大きな被害になる。	井戸や沢の水が濁る。 地面にひび割れや陥没ができる。 がけから水がわき出る。 地鳴りや山鳴りがする。

異常に気づいたら、消防署や現地対策班又は連合自主防災組織に連絡します。

#### 【令和元年10月の土砂災害】



緑区佐野川地内



緑区日連地内



緑区牧野地内

## ～ 大雪 ～



・平成 26 年 2 月の大雪では、津久井消防署の藤野分署で 1 メートルの積雪を観測しました。

積雪により道路が通行できなくなると**集落が孤立**するおそれがあります。

**生活道路などを除雪**する必要があります。

急な斜面では、**なだれが発生**する危険性があります。

### 【大雪の対策】

大勢が使用する幹線道路から外れた生活道路は、利用者が除雪する。

家の出口をこまめに除雪する。

屋根からの落雪やなだれに気を付ける。

地域で協力して消火栓周りの除雪をする。

除雪作業は 1 人で行わず、近所の皆さんと行うことを心がける。

○降雪による倒木に備え、竹や樹木の管理を行う。

### 【平成 26 年 2 月の大雪】



緑区佐野川地内(登里地区)



緑区牧野地内(菅井地区)

## ～ 火山災害 ～



富士山が噴火した際に、溶岩流が到達する可能性があるとして、令和 3 年 5 月に相模原市(相模湖地区、藤野地区)等が火山災害警戒地域に指定されました。溶岩流シミュレーションでは、最短で約 227 時間(9 日後)に市域に達すると想定されています。

今後、避難方法等に関して、地区防災計画の修正を検討する必要があります。



## ～ 地震 ～



- ・地震はいつどこで起きるか分かりません。
- ・相模原市防災アセスメント調査報告書(平成26年5月)によると、緑区を震源とする地震が発生したとき、藤野地区で想定される被害は、次のとおりです。

藤野地区では、**最大震度6強**の揺れが想定されています。

犠牲者が**11名**となることが想定されています。

全壊する家が**170棟**となることが想定されています。

### 【小学校区別の被害予測結果の詳細(相模原市西部直下地震)】

小学校区	建物総数	建物の被害		人口 (夜間)	死者	重傷者	軽傷者	避難者 (1週間後)
		全壊	半壊					
藤野	2,823	92	427	7,167	6	7	66	516
藤野北	869	10	107	2,646	1	1	14	107
藤野南	1,249	68	281	3,350	4	5	40	205
合計	4,941	170	815	13,163	11	13	120	828

相模原市防災アセスメント調査報告書(平成26年5月)より

### 【震度の目安】

震度	揺れと被害
震度4	怖いと感じる。眠っている人は目を覚ます。 吊り下げ物が大きく揺れる。不安定な置物が倒れる。
震度5弱	物につかまりたいと感じる。 棚から物が落ちることがある。
震度5強	棚から物が落ちる。 固定していない家具が倒れることがある。
震度6弱	立っているのが難しい。 窓ガラスや壁のタイルが破損、落下する。
<b>震度6強</b>	<b>はわないと移動できない。</b> <b>固定していない家具のほとんどが倒れる。</b>
震度7	耐震性の低い建物が倒壊する。(木造の方が倒壊しやすい。)

## 4 災害時にどう動くか！

### ～ 土砂災害編 ～

天気予報などで台風の接近や大雨が降る予報が出ている。

	気象庁などが発表する情報	市が発令する避難情報	とるべき行動
<b>警戒レベル</b> 1	早期注意情報 (警戒級の可能性)		こまめに気象情報を確認し、雨が降り始める時間等を把握します。 ○災害への心構えを高めます。
<b>警戒レベル</b> 2	大雨注意報 洪水注意報		ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認します。 ○安全な親戚・知人宅や風水害時避難場所など、避難する場所を確認します。 非常持ち出し品などを確認します。
<b>警戒レベル</b> 3	大雨警報 洪水警報	<b>高齢者等避難</b> 災害が発生するおそれがある状況	近隣に高齢者等がいる場合は、避難の手助けをします。 避難に時間を要する高齢者等やその支援者は、避難を開始します。 ○避難に時間のかかる高齢者等以外の人、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難します。
<b>警戒レベル</b> 4	土砂災害警戒情報 顕著な大雨に関する情報 (線状降水帯)	<b>避難指示</b> 災害が発生するおそれが極めて高い状況	危険な場所から全員避難する。 (土砂災害警戒区域内の人は)風水害時避難場所へ避難を開始します。
<b>警戒レベル</b> 5	大雨特別警報	<b>緊急安全確保</b> 災害が発生または切迫している状況	命の危険 直ちに安全確保 すでに安全な避難ができず、命が危ない状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する。

### 土砂災害警戒情報と避難指示が解除

- 自宅に戻ります。
- 自宅が被災したときは避難所に向かいます。  
避難所の運営は避難所運営協議会が行います。

## 藤野地区での役割分担(風水害時)

### 連合自主防災組織の活動を知みましょう！

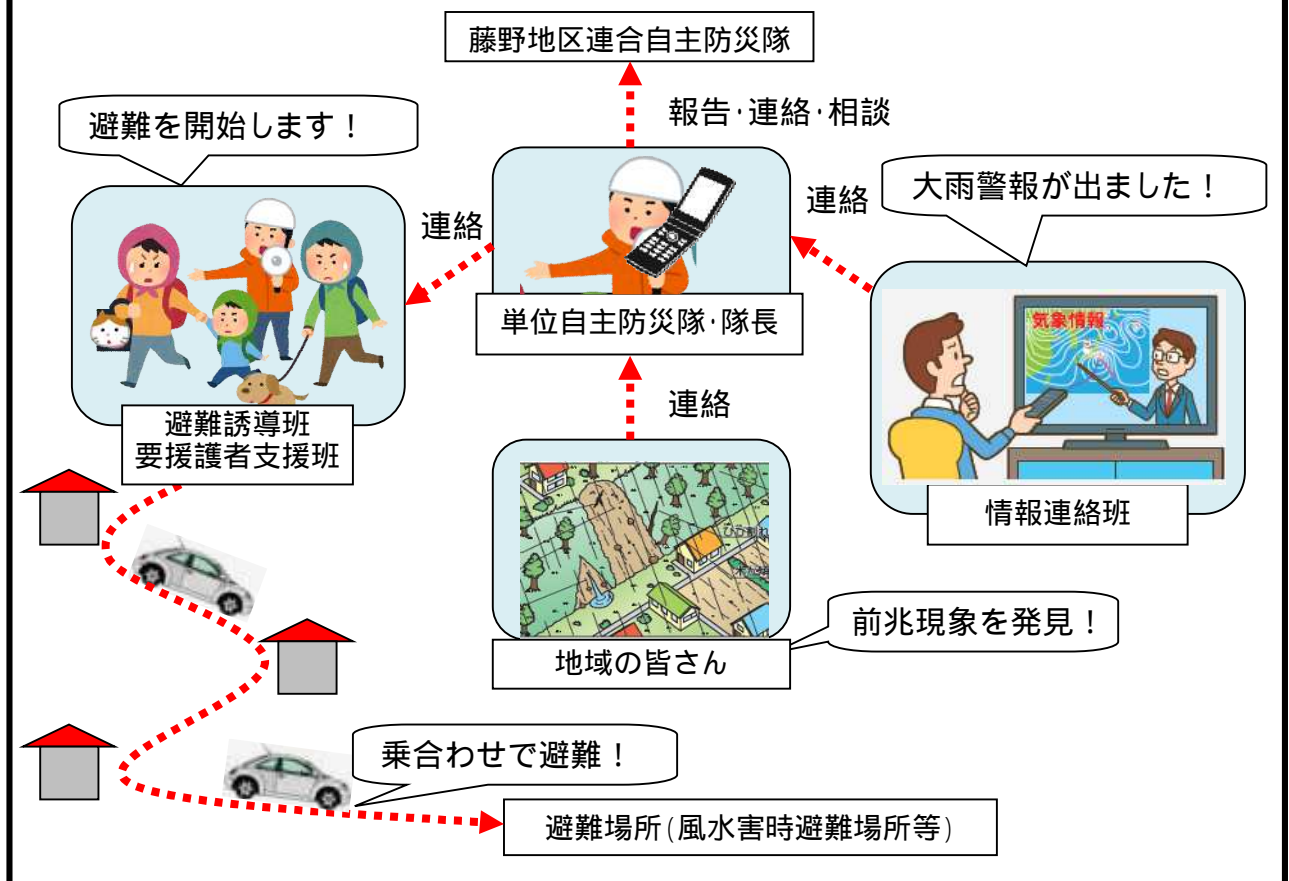
連合自主防災組織は、藤野地区に避難指示が発令されたときなどに市現地对策班の連絡により召集されます。(活動内容は地震災害時と同様)

### 単位自主防災組織の活動を知みましょう！




【非常時の活動】

班名	内容
隊長・副隊長 防災部長	地域の防災活動全般を把握する。 藤野地区連合自主防災組織との連絡を行う。 自治会館・集会所を開設する。
情報連絡班	気象情報を把握し、隊長などに連絡する。 雨量などを測定し、隊長などに連絡する。
避難誘導班	避難の開始を住民に周知する。 避難場所までの誘導を行う。
災害時要援護者支援班	避難に際して介助が必要な方などの避難を手助けする。
地域の皆さん	災害の前ぶれを発見したら、隊長などに連絡する。

### 【単位自主防災組織の活動イメージ】



## 災害時における情報の入手方法

<p><b>相模原市ホームページ(災害・緊急情報)</b></p> <p>避難所などの開設状況や避難情報などを確認できます。</p>  <p>相模原 災害緊急情報 検索</p>	<p><b>さがみはらメールマガジン「防災」</b></p> <p>気象情報や地震情報、河川水位情報など防災に関する情報が配信されます。 QRコードを読み取る。受付アドレスへ空メールを送る。 sagamihara@cousmail-entry.cous.jp</p> 
<p><b>ひばり放送(防災行政用同報無線)</b></p> <p>大地震など災害の発生時や緊急の呼びかけが必要な場合に、屋外スピーカーから防災情報などをお知らせします。相模原市ホームページからも確認できます。</p>	<p><b>ひばり放送テレホンサービス</b></p> <p>050-1807-3388</p> <p>通話料金が発生します。 一部の携帯電話で利用不可</p>
<p><b>相模原市 LINE 公式アカウント</b></p> <p>ひばり放送の内容や、防災に関する重要なお知らせ QRコードを読み取り、友だち追加 配信項目を設定し完了</p> 	<p><b>Twitter 相模原市災害情報</b></p> <p>@sagamihara_kiki</p> <p>地震、災害などに関する情報等を投稿</p> 
<p><b>気象庁ホームページ</b></p> <p><a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a> 気象情報、地震・津波情報、全国の防災情報などを確認できます。</p>	<p><b>神奈川県災害情報ポータル</b></p> <p><a href="https://www.bousai.pref.kanagawa.jp">https://www.bousai.pref.kanagawa.jp</a> 緊急情報、気象情報、土砂災害、地震情報、ハザードマップなどを確認できます。</p>
<p><b>NHK ニュース・防災アプリ</b></p> <p>地域ごとの天気予報や災害情報、自治体が出す避難情報などを確認できます。</p> <p>▼iPhone</p>  <p>▼Android</p> 	<p><b>Yahoo!防災速報</b></p> <p>災害に関する情報や市からの避難情報、避難所の開設情報などが確認できます。</p> 
<p><b>テレビ神奈川(tvk)データ放送</b></p> <p>tvk(地デジ3ch) 主にひばり放送の内容を配信するほか、防災情報も配信します。</p>	<p><b>エフエムさがみ(FM HOT 839)</b></p> <p>83.9MHz 災害時には、通常放送が緊急放送に切り替わり、ひばり放送の内容を放送します。</p>

## 自治会館・集会所(風水害時避難場所)の開設方法

土砂災害から身を守るためには、早めの避難が重要です。  
 避難は、市が開設する公共施設のみではなく、親戚・知人宅をはじめ、自治会館・集会所なども活用するとより効果的です。

自治会館・集会所が避難する場所として適切かどうかを事前に確認しましょう。

### 【藤野地区の状況】

藤野地区の4つの避難場所(藤野小学校、藤野中学校、藤野南小学校、ふるさと自然体験教室・沢井体育館)は、土砂災害のおそれのある区域に所在する。

大雨のときの避難場所については、公民館などが指定されているが、身近な自治会館・集会所についても活用していく必要がある。

### 【開設する自治会館・集会所の条件】

施設が土砂災害警戒区域などの危険な区域の外にある。

(土砂災害警戒区域などの危険区域内の施設は、使用しない。)

自治会により施設の開設が可能である。

地域の住民が避難できるスペースがある。

- 換気や、避難者の十分なスペース確保など、新型コロナウイルス等の感染拡大防止が可能である。

### 【自治会館・集会所を開設するとき】

市が避難に関する情報(高齢者等避難など)を発令したとき

土砂災害警戒情報が発表されたとき

地域の方から避難したい旨の連絡を受けたとき

その他、避難場所の開設が必要と自主防災組織の隊長等が判断したとき

P3「避難に関する情報」を参照

### 【自治会館開設のイメージ】

手順	気象の状況	活動のイメージ	自主防災組織の活動
1	大雨注意報発表	気象情報に注意する	
2	大雨警報発表	無線機の電源を入れる (情報連絡体制を確立)	
3	土砂災害警戒情報発表	自治会館等を開設(避難者受入) 開設した旨を市現地対策班に電話連絡	
4	高齢者等避難 } 発令 避難指示 }	随時、避難者の状況を連絡	

左の欄に記載した活動のイメージを参考に各自自主防災組織での活動を記入しましょう。

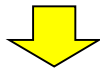
## ～ 大雪編 ～

天気予報などで雪が降る予報が出ている。



### こまめに気象情報を確認します。

- ・除雪に必要なスコップなどの機材を用意します。
- ・孤立するおそれのある地域では、食料や薬等の備蓄状況を確認します。



### 注意報や警報などが発表されたら…。

- ・ **大雪注意報** …数センチ程度の雪が積もる可能性があります。  
屋外の様子に注意し、玄関前はこまめに除雪します。
- ・ **大雪警報** …数十センチ程度の雪が積もる可能性があります。  
車での外出は避けましょう。  
近隣の方々と協力して生活道路の除雪の準備をします。



### 近隣の皆さんと協力して除雪を行います。

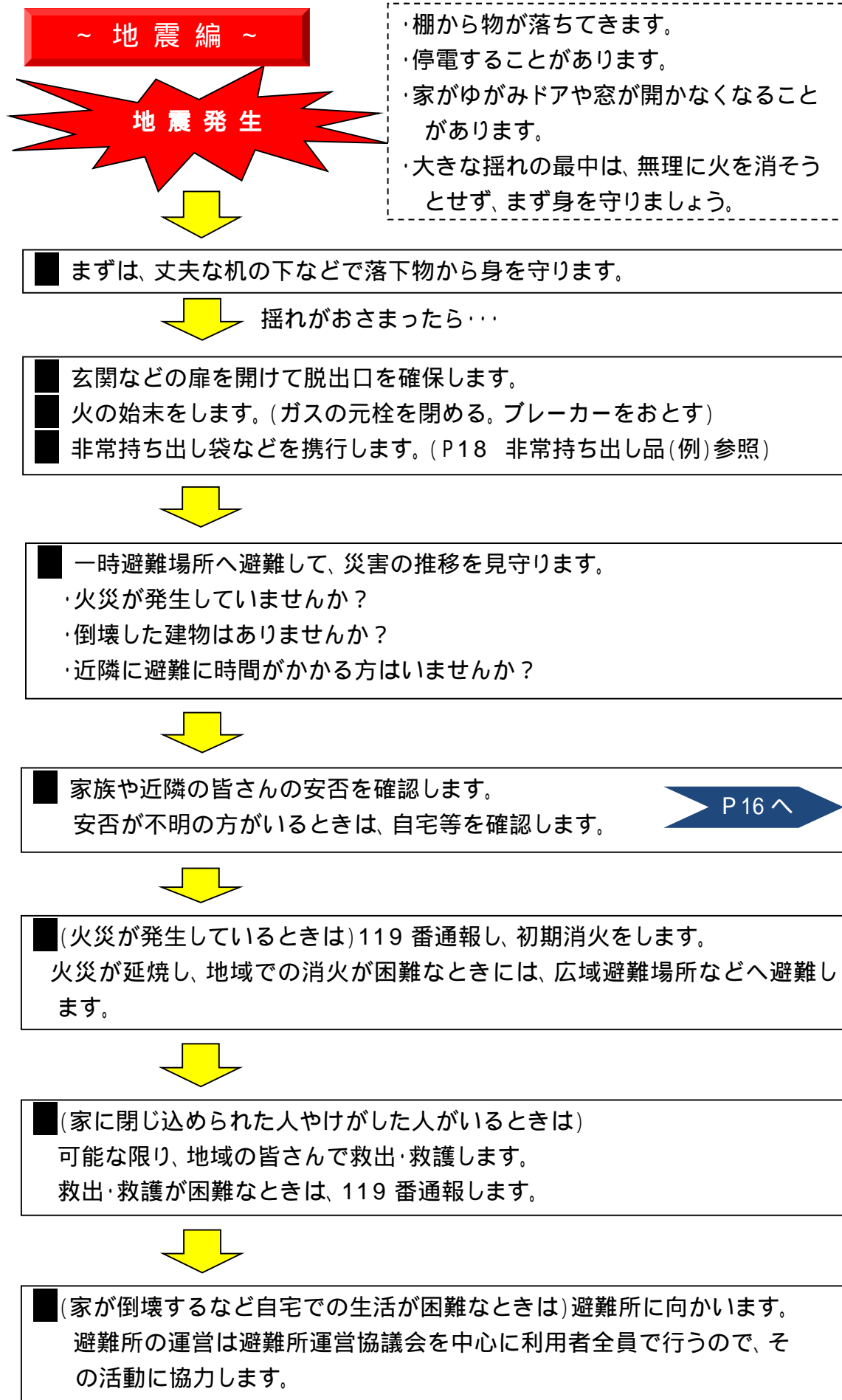
- ・生活道路を中心に協力して除雪作業を行います。

[参考] 市が行う除雪対策(市は優先順位を付けて除雪を行います)  
国道・県道及び幹線市道などを除雪(緊急輸送道路の確保)  
主要な施設(病院、駅等)へのアクセス道路を除雪  
道路交通ネットワークを補完する道路・坂道などがある道路の除雪  
その他の道路を除雪



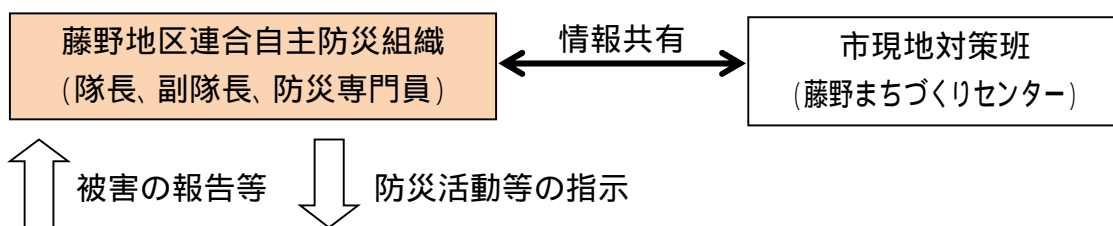
### 被害のおそれがあるときは…。

- ・ **孤立するおそれがある** …備蓄品を確認します。  
市まちづくりセンターや自主防災組織の隊長などに連絡し、状況を伝えましょう。
- ・ **なだれ注意報が発表された** …急な斜面でなだれが発生する可能性があります。  
急な斜面の近くにお住まいの方は、避難しましょう。



## 藤野地区での役割分担(地震災害時)

### 災害時の連絡体制を確認！



単位自主防災組織								
吉野	藤野	関野	下小淵	上小淵	藤野台	日野	中里	落合
上沢井	栃谷	日連	杉	大刀	名倉	葛原	芝田	新和田
篠原牧馬	大久和	中尾	上野久保	牧郷	綱子	長又	菅井	小舟
竹ノ久保	京王住宅	川上	和田	鎌沢	上河原	下岩	御霊	上岩
単位自主防災組織が編成されていない自治会								
日向	馬本	吉原	伏馬田					

### 連合自主防災組織の活動を確認！

【非常時の活動】 市内で震度5弱以上の地震を観測したときに活動します。

役職	活動内容
隊長(1名)	連合自主防災組織(本部)の設置(藤野総合事務所内) 単位自主防災組織からの情報収集 市現地対策班との情報共有 防災活動における単位自主防災組織への指示 単位自主防災組織間の連絡調整
副隊長(2名)	
防災専門員(2名)	

### 単位自主防災組織の活動を確認！

【非常時の活動】

班名	活動内容
避難誘導班	安全な経路を判断し避難誘導を行う。 逃げ遅れた人がいないか確認する。
給食・給水班	炊き出しや給水を行う。 救援物資を配布する。
救出・救護班	倒壊した建物から人を救出する。 病院や救護所へ連れて行く。
初期消火班	初期消火を行う。
情報連絡班	被害状況を連合自主防災組織や市の現地対策班へ連絡する。 人の生命に関わることは消防署へ連絡する。 集会所などへの自主避難者の状況を連絡する。
災害時要援護者支援班	避難に際して自ら避難をするのが困難な方などを支援する。 災害時要援護者の安否確認を行う。



## 安否確認・避難支援の方法

### 【安否確認の必要性】

大規模な地震が発生すると、年齢や性別などに関わらず、誰でも支援が必要となる可能性があります。そのため、日頃からつながりのある隣近所において、速やかに安否を確認し、支援が必要な方を把握することが大切です。また、災害時には電話が不通になる可能性がありますので、その際の安否確認の方法も決めておく必要があります。

現在、避難行動要支援者(災害時要援護者)の個別避難計画の作成について検討が進められています。

### 災害時の活動

隣近所で安否確認を行います。

(組単位、自治会単位など安否を把握しやすい単位で実施します。)

避難支援が必要な方がいれば、隣近所で協力して支援を行います。

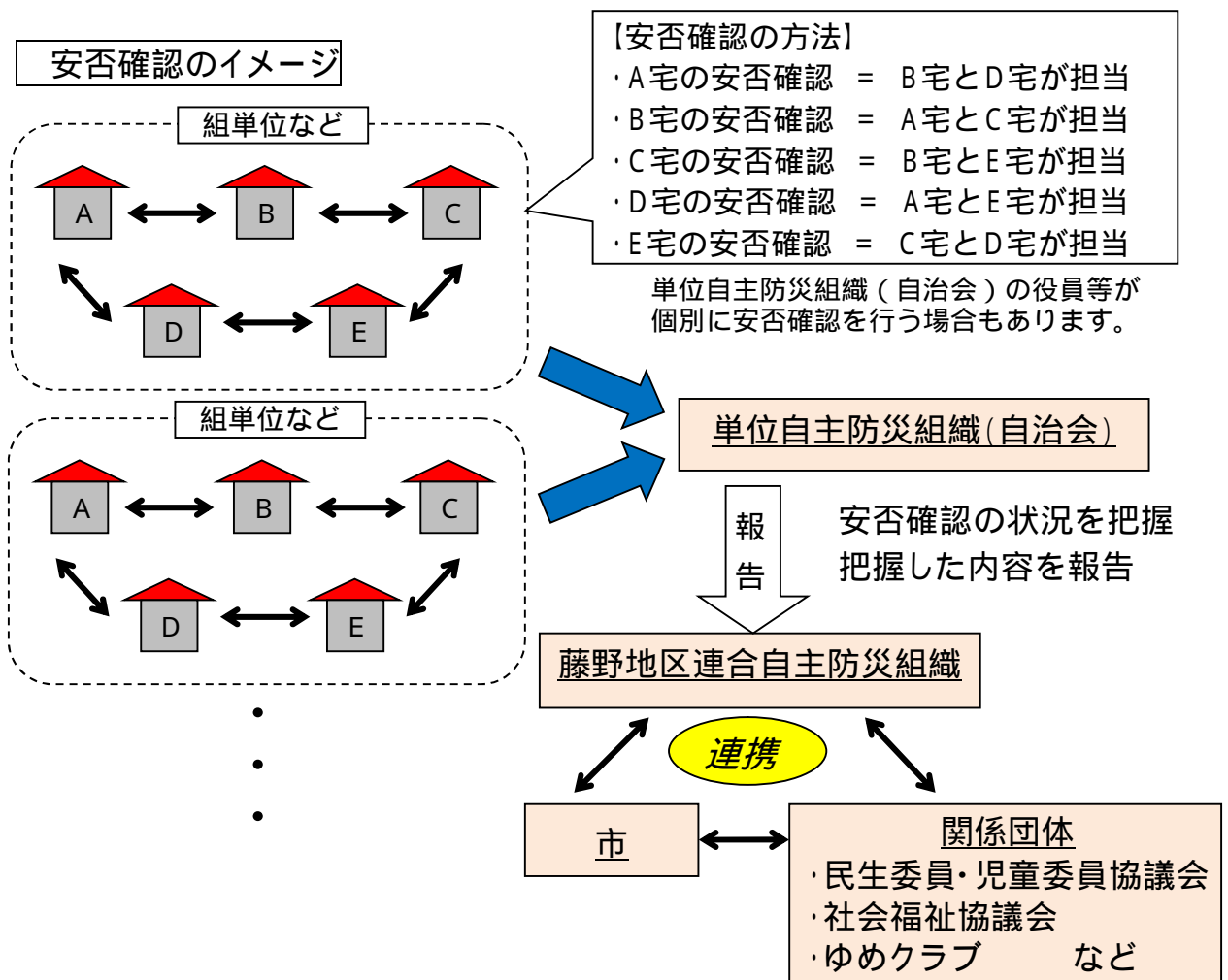
(無理はせず、自分の安全を確保することが原則です。)

自治会単位などで安否確認の状況を把握します。

(マップなどがあるとより効率的に把握ができます。)

把握した状況は民生委員・児童委員などと情報共有します。

災害発生後3日間を目途に安否確認を実施します。



#### 4 災害時にどう動くか！

### 電話を使用した安否確認

家族と離ればなれになった時には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」や携帯電話各社の「災害用伝言板」を使用して安否の確認をします。

使い方をマスターしておこう！ 毎月1日、15日などに体験日があります。事前に練習してみましょう。

**離れ離れになった家族との連絡に役立つ「災害用伝言サービス」**

- 災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

**伝言の録音方法** 171 ▶ 1 ▶ (×××)×××-×××× ▶ 伝言を入れる(30秒以内)

**伝言の再生方法** 171 ▶ 2 ▶ (×××)×××-×××× ▶ 伝言を聞く

※被災地の人は自分の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号をダイヤルします。  
※音声ガイダンスの指示に従って操作してください。

- 携帯電話・スマートフォンの「災害用伝言板」の使い方

公式メニューや専用アプリから災害用伝言板にアクセス ▶ 「災害用伝言板」を開く

- 伝言を登録する場合 「登録」を選択して伝言を入力(全角100文字以内)
- 伝言を確認する場合 「確認」を選択して被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る

※詳しくはご利用の携帯電話事業者にお問い合わせください。

### 南海トラフ地震臨時情報の内容に応じた防災対応

南海トラフ地震臨時情報が発表され、事前の準備行動等を行う必要があると認められた場合には、後発地震の発生に備えた事前避難対策等を実施する。

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合の対応(最初の地震発生から1週間)

- 日ごろからの地震への備えを再確認する。
- 地震発生後の避難では明らかに避難が完了できない災害時要援護者等は、避難を開始し、それ以外の者は避難準備を整え、状況に応じて避難する。
- 2週間経過後は、地震の発生の可能性がなくなったわけではないことに留意し、通常の生活に戻る。

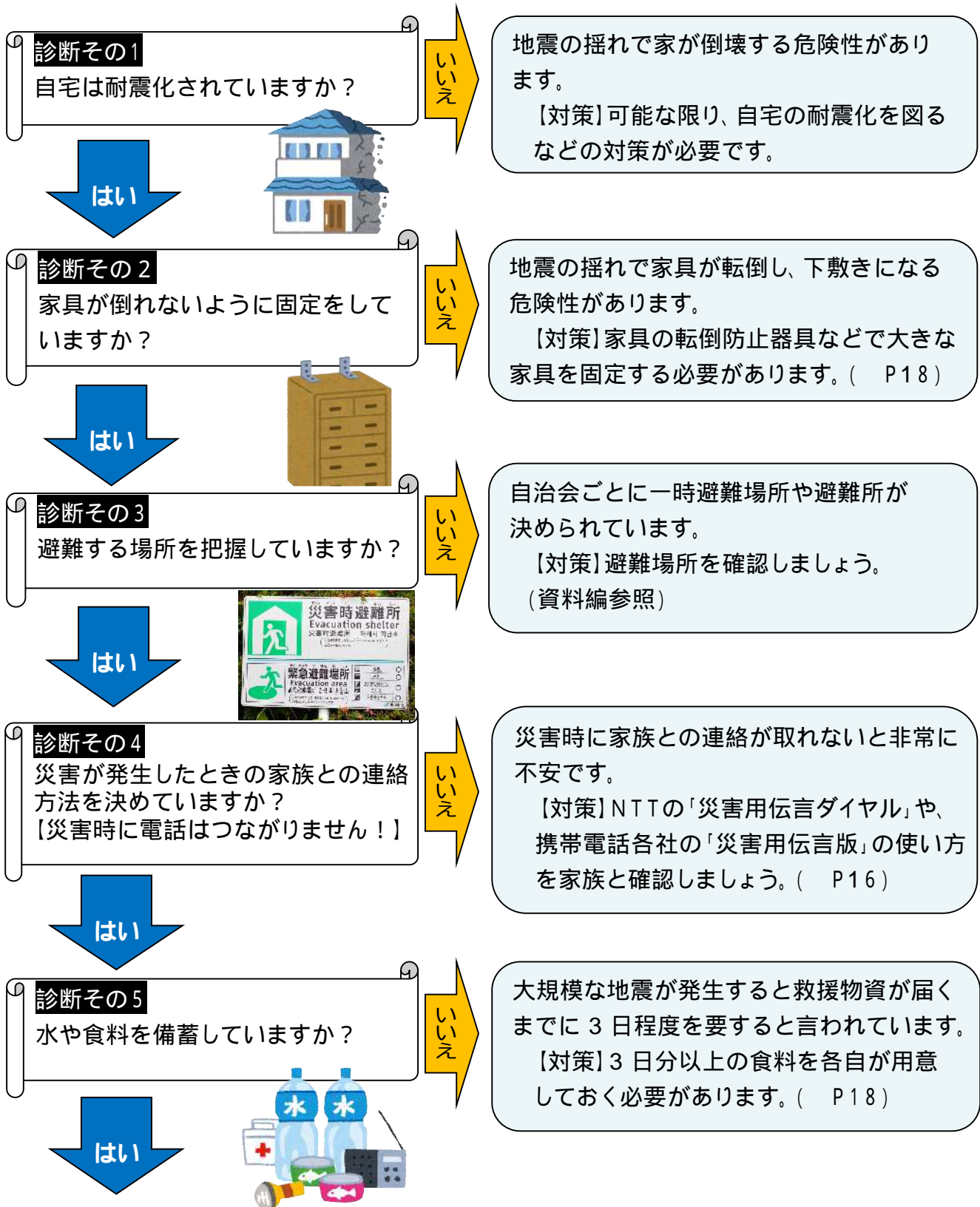
南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表された場合の対応(最初の地震発生から1週間)

- 日ごろからの地震への備えを再確認する。
- 1週間経過後は、地震の発生の可能性がなくなったわけではないことに留意し、通常の生活に戻る。

### 後発地震に備えた事前避難

- 住民の避難は、親戚・知人宅等への避難が基本であること。
- 食料や生活用品などは避難者が準備することが基本であること。
- 日ごろからの地震への備えを再確認する。

## わが家の防災診断



ご自身の取組みを藤野地区の皆さんにも伝えましょう！  
また、自主防災組織などの活動に積極的に参加しましょう！

## 5 日頃からの災害への備え ~災害による被害をなくすためには~

### (1)自分の命は自分で守る「自助」の取組み

#### ステップ 家族防災会議を開催しましょう！

家族防災会議では、災害に備えて、家族で日頃から次の事項を話し合います。

災害発生時にしなければならないこと(火の始末など)  
家族との連絡の方法や集合場所  
避難場所や避難経路の確認  
備蓄品と非常持出し品の用意(粉ミルクや常備薬など)  
地域での協力(隣人の安否確認など)

#### ~マイ・タイムラインシートの作成~

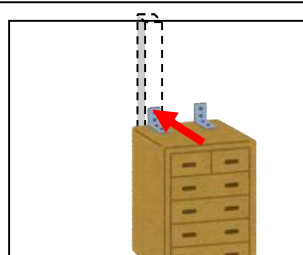
風水害に備えどのように行動するか、マイ・タイムラインシート(防災行動計画)を作成する。

#### ステップ 家具の転倒防止対策を行いましょう！

家具の転倒防止器具を購入し、大きい家具を固定する。  
窓ガラスの飛散防止を行う。

#### 【家具の転倒防止のポイント】

- ・必ず強固な柱などに固定しましょう。
- ・石膏ボードなどへの固定では地震の揺れで倒れることがあります。



#### ~地域で取り組むとより効果的に！~

高齢者等、個人で家具の固定などができない方を支援する。

#### ステップ 非常持出し品を準備しましょう！

非常持出し品(例)

ヘルメット・防災ずきん、軍手・使い捨て手袋、懐中電灯、乾電池  
携帯ラジオ、携帯充電器、靴・スリッパ、衣類、タオル  
食料(アルファ化米・缶詰・チョコレートなど)、飲料水、ナイフ・缶切り  
寝袋・ブランケット(アルミシート)、雨具(レインコート・折りたたみ傘)  
医薬品・常備薬・ばんそうこう・包帯、生理用品、洗面用具  
携帯トイレ、眼鏡・コンタクトレンズ、ポリ袋、筆記用具・ノート  
ティッシュ・ウエットティッシュ・トイレトペーパー  
マスク・手指消毒液・体温計、貴重品(現金・通帳・保険証など) など

#### ~地域で取り組むとより効果的に！~

防災訓練時などに各自の非常持出し品を確認し合う。

## (2) 自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の取組み

### ステップ 安否確認の仕組みづくり

災害時には、通信の途絶等により家族との連絡が困難になりますので、日頃から地域において住民の安否を確認する仕組みを作っておくことがとても重要です。

#### 個別避難計画

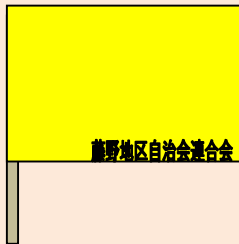
現在、避難行動要支援者(災害時要援護者)の個別避難計画の作成について検討が進められています。

#### 黄色い小旗の活用

災害時の安否確認などを効率的に行うため、藤野地区自治会連合会で全戸配布した「黄色い小旗」をより有効に活用する必要があります。

防災訓練など、相互に声を掛け合い、地域ぐるみで「黄色い小旗」の活用を徹底します。

黄色い小旗とは・・・ 大地震などの災害が発生したときに、



「我が家は大丈夫。他の人を助けてほしい。」

という目印に、外から見やすい玄関等に

「黄色い小旗」を掲げることで、支援が必要な

世帯を早期に把握し、救助者が効率的に救助活動を行えるようにするためのものです。

### Good!

#### 藤野地区ではこんな取組みをしている自主防災組織があります!

【吉野地区自主防災組織の取組み】

吉野地区自主防災組織では、災害時の安否確認を円滑に行うため、各自治会員を対象に世帯数などの把握を行うための名簿をあらかじめ作成しています。また、名簿は鍵のかかる金庫に保管し、有事の際には役員などがこの名簿を活用して安否確認を行うこととしています。

(実際の様式)

吉野自治会連合会 構成員名簿		令和 年 月 日
		(上宿自治会)
フリガナ 氏名	住所	
	緑区吉野	

## ステップ 防災マップの作成

災害時に安全な避難経路を選んだり、効率的に住民の安否確認を行うためには、事前に地域の危険箇所や避難する場所などを把握しておくことが必要です。

そのため、自主防災組織や自治会単位ごとに、地域の様々な情報を記載した「防災マップ」を作成しましょう。

### 【マップに記載する主な情報】

- 災害時に危険となる箇所(過去に災害が発生した場所)
- 避難する場所
- 避難する経路(複数の経路を決めておくことが望ましい)
- 防災関連施設の場所(消防署、まちづくりセンター等)
- 消火栓の場所
- 安否確認を行う単位(エリア)

### 【防災マップのイメージ】



実際にまちを歩いて危険と思われる箇所などを確認することも有事のときに役立ちます。

**Good!****藤野地区ではこんな取り組みをしている団体があります!**

【藤野地区民生委員児童委員協議会の取り組み】

藤野地区民生委員児童委員協議会では、災害時に支援が必要な高齢者の所在地を記載したマップを作成し、安否確認に役立てています。

また、民生委員が地区ごとにお互いの担当地域のマップを共有し、担当者不在時にも別の担当者に対応できる体制をとっています。

**Good!****藤野地区ではこんな取り組みをしている団体があります!**

【藤野地区商工会青年部の取り組み】

藤野地区商工会青年部では、令和元年東日本台風において藤野地域内で発生した災害を教訓に、今後、悲しい災害を繰り返さないためにも一人ひとりが防災意識を高めていただけるよう、市と連携して防災冊子を作成、令和4年3月に藤野地区全戸に配布されました。

**掲載内容**

災害時の避難場所や土砂災害危険区域等の確認方法、防災関係機関等の連絡先、日頃からの災害への備えなどについて掲載し、藤野地区に特化した内容でわかりやすく説明。



### (3) 災害の発生を想定した防災訓練の実施

災害時に適切な行動をとるためには、日頃から災害が発生した時の行動を意識しておくことが必要です。

藤野地区での災害による犠牲者をなくすためには、地域の防災訓練に多くの方が参加し、災害時の行動を確認できるような訓練を行うことが重要です。



#### 藤野地区で実施しておくべき訓練

##### 地震を想定した訓練

訓練項目	訓練内容
避難誘導訓練	地震が発生した直後の避難場所、避難経路などを確認する訓練です。災害時に支援が必要な方を避難場所まで誘導する訓練なども含まれます。
安否確認訓練	災害発生時に速やかに住民の安否を確認する訓練です。あらかじめ決めておいた手段が災害時にうまくいくのかを確認します。避難誘導訓練と合わせて実施するとより効果的です。
初期消火訓練	地震が発生した際は、同時多発的に発生する火災等に対応するため消防などの到着が遅くなります。そのときの住民による消火活動を訓練します。
避難所運営訓練	地震により自宅が倒壊したときなどは、避難所で生活することになります。避難所をどのように使っていくのか、備蓄品を活用した仮設トイレの組み立てや炊き出しの方法などを確認します。

##### 土砂災害を想定した訓練

訓練項目	訓練内容
避難誘導訓練	土砂災害から身を守るためには、早めの避難が必要です。避難をするタイミングや風水害時避難場所までの安全な避難経路などを確認します。
情報伝達訓練	避難者の人数や避難した場所などは、市などの関係機関に連絡する必要があります。単位自主防災組織から連合自主防災組織、連合自主防災組織から市への連絡体制などを確認します。

##### 災害により集落が孤立したことを想定した訓練

訓練項目	訓練内容
情報伝達訓練	孤立対策推進地区には電話が使えない時にも使用できる「衛星携帯電話」が配備されているので、その使い方を確認します。
備蓄機材の取扱い訓練	孤立対策推進地区には、衛星携帯電話のほか、チェーンソーや救助工具セットなどの機材を備えています。その取扱い方法も確認します。



### その他の訓練

防災訓練は多くの方が参加して災害時の行動を確認することが重要です。また、時には楽しみながら災害のことを考えることも地域の防災力を高めるための一つの方法です。

そのためには防災訓練にレクリエーション機能を持たせた訓練なども検討する必要があります。例えば、運動会と防災訓練を融合させた「防災運動会」や避難所での宿泊を体験する「避難所キャンプ」、地域のイベントと連携した防災訓練などもその一つです。

### Good!

#### 藤野地区ではこんな取組みをしている自主防災組織があります！

【佐野川地区の取組み】

佐野川地区では、地域の皆さんが多く集まる「佐野川公民館まつり」と防災訓練を同日に実施することにより、より多くの皆さんに防災活動を体験してもらいました。

(訓練の様子)



5 日頃からの災害への備え

【防災訓練の進め方チェックリスト】

手順	内容	具体的な実施事項等
1	藤野地区で想定される災害を確認	P 5「藤野地区における災害」を確認します
2	地域住民がやっておくべき訓練を検討	過去の訓練内容を確認します 想定する災害を決めます 訓練を通じて住民に伝えたいことを検討します 市(まちづくりセンター、消防署等)に相談します
3	訓練の目的(テーマ)を決める	訓練を通じて、最も住民に伝えたいことを決めます
4	訓練の日時・場所を決める	自治会の都合等を勘案して日にちを決める 訓練の時間を決める 他の行事と合わせて実施することも検討する 訓練を実施する場所を決める 事前の予約が必要な施設は予約する
5	訓練の対象者を決める	訓練目的に合わせて訓練対象者を決める 訓練の指導者(消防署・消防団等)を決める 関係機関(市、警察等)の参加の必要性を検討する
6	必要な資機材を決める	自主防災組織の備蓄品を確認する 必要な物品の準備を市に依頼する
7	市に申請書を提出する	防災訓練等実施申請書を消防署に提出する
8	住民に周知する	資料を作成し、回覧板等で対象者に周知する
9	事前の調整をする	消防署等と訓練の内容について事前に調整する 自主防災組織内での役割分担を決める
10	訓練を実施する	訓練を実施
11	訓練を検証する	訓練でよかったこと、改善が必要なことなどを確認し、次回の訓練に反映する

#### (4) 継続的に藤野地区の防災力を向上させる取組み

##### ステップ 隊長などの防災教育

自主防災組織の隊長への防災教育  
 次世代のリーダー(30代・40代)への防災教育  
 学生への防災教育

災害発生時や訓練のときにリーダーとなる自主防災組織の隊長や次世代のリーダーを対象に、災害に関する知識をより一層深めるための研修等を実施します。

また、隊長に変更があった場合についても、旧隊長から新しい隊長に対して、これまでの取組み状況、課題となっている事項を引き継ぎます。

地震や風水害に関する基礎知識を深めるため、市が行っている「生涯学習まちかど講座」を利用するなどして、研修などを行います。

##### ステップ 各地区の取組みを知る

藤野地区の防災力を向上させるためには、他の地域の取組みを参考にして取り入れることも必要となります。

藤野地区内での取組みを相互に共有するため、広報誌や訓練発表会などを通じて、取組み状況を確認します。

###### 広報誌の発行

防災をテーマにした広報誌を定期的に発行し、配布します。

###### 訓練発表会の開催

地域で実施した訓練の内容を発表し合い、それぞれの取組みやアイデアを共有します。

##### ステップ 藤野地区防災計画を見直す

災害時や訓練時にうまくいかなかったことなどは、その解決策を検討し、訓練などを通じて繰り返し改善していくことで、地域の防災力を向上させることができます。

藤野地区では、年1回以上、この計画の内容を確認する機会を設け、必要に応じて修正を行います。

###### 計画を修正する場合

計画の内容に影響のない軽微な修正(名称の変更など)は、適宜、修正を行い、地区連合自主防災組織の隊長やまちづくり会議等に報告します。計画内容の変更を伴う修正については、自主防災組織の隊長などで内容を検討し、まちづくり会議へ付議し、意見を聞きます。

# 資料編

## 藤野地区防災計画【資料編】 目次

災害・被災状況連絡票 .....	資- 1
防災機関等の連絡先 .....	資- 2
ライフライン等の連絡先 .....	資- 3
災害時の避難場所 .....	資- 4
孤立対策推進地区一覧 .....	資- 9
通行規制路線図 .....	資-11
命を守る防災の知恵 .....	資-12
マイ・タイムラインシート .....	資-14

### 【関連するマニュアルなど】 名称のみ掲載しています

#### 避難所運営マニュアル

・・・避難所の運営方法などを定めたもの・・・

#### 災害時要援護者避難支援ガイドライン

・・・災害時要援護者の避難支援に係るルールなどを示したもの・・・

#### ○さがみはら防災ガイドブック

・・・防災に関する正しい「知識」と日頃の「準備」等をまとめたもの・・・

# 災害・被災状況連絡票

## 【発信者欄】

発信日時	令和 年 月 日 :
発信者	自主防災組織 (職) (氏名)
災害発生時間	昨日 本日 [ 月 日] : 頃 未明
災害発生場所	緑区 付近
災害区分	人的被害 住家被害 道路施設 水道施設 その他
災害発生状況	
現在の 対応状況	

## 【受信者欄】

受信者	藤野地区連合自主防災組織 (職) (氏名) 現地対策班(藤野まちづくりセンター) (氏名)
-----	--

固定電話 : 042-687-2117 (衛星携帯電話(イリサット)からかける場合: 0081-42-687-2117)

FAX : 042-687-4347

衛星携帯電話:(イリサットから) 00-870-7767-43262 又は(ｽﾌﾟから) 870-7767-43262

## 防災機関等の連絡先

令和4年12月現在

種 別	機関名	電話番号	備 考
防災	藤野まちづくりセンター	042-687-2117	現地対策班 連合自主防災組織
	緑区役所 地域振興課	042-775-8801	緑区本部
	市 緊急対策課	042-707-7044	災害対策本部
	市 危機管理課	042-769-8208	
救急・ 消防	市 藤野分署	042-687-3401	
	市 津久井消防署 警備課	042-685-0119	消防団関係
	市 消防局 指令課	119	火災・救助・救急
警察	吉野駐在所	042-687-2739	
	小淵駐在所	042-687-2738	
	日連駐在所	042-687-2710	
	牧野駐在所	042-689-2110	
	佐野川駐在所	042-687-2215	
	津久井警察署 警備課	042-780-0110	
隣接地	上野原市 危機管理室	0554-62-3145	
	上野原市 消防署	0554-62-4111	

## ライフライン等の連絡先

令和4年12月現在

種別	機関名	電話番号	備考
道路	津久井土木事務所 藤野班	042-687-5512	県道・市道
	津久井土木事務所	042-780-1417	
	相武国道事務所	042-643-2001	国道20号線
	中日本高速道路八王子支社	042-691-7121	中央道
交通	JR中央本線 藤野駅	042-687-2310	
	JR東日本テレフォンセンター	050-2016-1600	
	神奈川中央交通西(バス)津久井営業所	042-784-0661	
	富士急バス上野原営業所	0554-63-1260	
医療	藤野診療所	042-687-2229	
	日連診療所	042-687-2005	
上下水道	県企業庁津久井水道営業所	042-784-4822	県営水道
	津久井土木事務所 藤野班	042-687-5512	市営水道
	津久井下水道事務所	042-780-1409	公共下水道 高度処理浄化槽
電気	東京電力パワーグリッド(株)	0120-995-007	停電・電柱・電線
電話	NTT東日本	116(局番なし)	
学校等	藤野北小学校	042-687-3008	
	藤野中学校	042-687-3019	避難所指定
	藤野小学校	042-687-2719	避難所指定
	藤野南小学校	042-689-2046	避難所指定
	ふじの幼稚園	042-687-5222	
	日連保育園	042-687-4739	



## 災害時の避難場所

### 【風水害のとき】

#### 風水害時避難場所

令和4年9月現在

施設名	所在地	備考
藤野中央公民館	緑区小淵 1992	
藤野総合事務所	緑区小淵 2000	
藤野中学校	緑区小淵 2082	使用範囲に制限あり
ふるさと自然体験教室	緑区澤井 936-1	使用範囲に制限あり
学校法人シュタイナー学園初等部・ 中等部(旧名倉小学校)	緑区名倉 2805-1	
藤野小学校	緑区日連 549	使用範囲に制限あり
藤野農村環境改善センター	緑区牧野 4232	
藤野南小学校	緑区牧野 4327	使用範囲に制限あり
藤野芸術の家	緑区牧野 4819	使用範囲に制限あり
牧郷体育館	緑区牧野 7029	
旧菅井小学校	緑区牧野 11695	使用範囲に制限あり
学校法人シュタイナー学園高等部 (旧吉野小学校)	緑区吉野 407	
ふじの幼稚園	緑区吉野 1030-12	
上野原カントリークラブ駐車場	上野原市上野原 6887	



台風等が過ぎ去り、自宅等が倒壊するなどにより、  
自宅での生活が困難なとき



避難所(地震のときと同じ)

## 災害時の避難場所

## 【地震のとき】

いっとき  
一時避難場所

令和4年12月現在

自治会名	一時避難場所	所在地
上宿	(1班)福龍前	緑区小淵2177-9
	(2班)吉野郵便局駐車場	緑区吉野279
	(3班)シュタイナー学園校庭	緑区吉野407
	吉野自治会館	緑区吉野391
中宿	吉野宿ふじや駐車場	緑区吉野219
	シュタイナー学園校庭	緑区吉野407
	吉野自治会館	緑区吉野391
下宿	釣り船反田前横空き地	緑区吉野102-1
	吉野自治会館	緑区吉野391
桐戸	岩崎宅横駐車場	緑区吉野445-1
	大房宅横ゴミ箱前	緑区吉野480-1
	吉野自治会館	緑区吉野391
桜野	山口宅前市道	緑区吉野1336
	伊藤宅前市道・私道	緑区吉野2279-6
	観福寺境内・市道	緑区吉野753
	吉野自治会館	緑区吉野391
中原	(有)望月モータース駐車場・市道	緑区吉野842-2
	吉野自治会館	緑区吉野391
奈良本	ふじの幼稚園	緑区吉野1030-12
	奈良本休憩所	緑区吉野1083-1
藤野	(A班)藤野中学校校庭	緑区小淵2082
	(B班)内藤宅前	緑区小淵1968-2
	(C班)藤野中央公民館駐車場	緑区小淵1992-1
	(D班)藤野駅前広場	緑区小淵1699-7
	(E班)門倉宅横上駐車場	緑区小淵1806
関野	中村宅広場	緑区小淵1226-1
	関野自治会館	緑区小淵1258-2

自治会名	一時避難場所	所在地
下小淵	ルーキー前市道	緑区小淵1074 - 1
	諸角宅前広場	緑区小淵896 - 1
	旧名倉入口バス停前	緑区小淵806 - 7
	下小淵集会所	緑区小淵774 - 6
上小淵	臼井工業倉庫前空き地	緑区小淵440 - 1
	上小淵自治会集会所	緑区小淵406
藤野台	(西部)藤野台西公園	緑区小淵22 - 80
	(東部)藤野台東公園	緑区小淵123 - 41
	藤野台自治会集会所	緑区小淵22 - 15
日野	日野集会所	緑区澤井149
中里	中里自治会集会所	緑区澤井639
落合	落合自治会集会所	緑区澤井925
	ふるさと自然体験教室敷地	緑区澤井936 - 1
上沢井	上沢井自治会館	緑区澤井2474 - 10
栃谷	(栃谷:上栃谷)栃谷園地集会所	緑区澤井1888
	(栃谷:下栃谷)遠藤宅前市道	緑区澤井1988
	(伝通:沖栃谷)森川宅前林道	緑区澤井2020
日連	(日連)日連神社	緑区日連1493
	(青田)おおだ山荘前	緑区日連1411
	日連自治会館	緑区日連1495 - 1
杉	(1区)日連(杉)集会施設	緑区日連831 - 1
	(2区)日連保育園駐車場	緑区日連1068 - 1
	(3区)旧JA日連支所前	緑区日連618 - 1
	(4区・5区)杉北公園	緑区日連381 - 9
大刀	大刀園芸ランド駐車場	緑区名倉1104 - 1
	大刀自治会館	緑区名倉1000 - 3
名倉	名倉自治会館	緑区名倉2619 - 3
葛原	葛原神社下駐車場	緑区名倉4001 - 1
	葛原集会所	緑区名倉3985
日向	六地藏前	緑区名倉3493
	奥山宅	緑区名倉1728
	日向集会所	緑区名倉3356 - 1

自治会名	一時避難場所	所在地
芝田	芝田集会施設	緑区名倉557-1
篠原牧馬	(牧馬)佐藤宅前	緑区牧野679-1
	(上地区)上地区集会所	緑区牧野1712-1
	(中地区)篠原の里センター	緑区牧野2881
	(下地区)下地区倉庫	緑区牧野2602-3
大久和	藤野やまなみ温泉敷地	緑区牧野4225-1
中尾	中尾自治会館	緑区牧野4546
新和田	(上)吉田工業内広場	緑区牧野5210
	(下)新和田多目的集会施設	緑区牧野5187-1
上野久保	藤野芸術の家敷地	緑区牧野4819
馬本	馬本生活改善センター	緑区牧野4763-3
吉原	吉原自治会館	緑区牧野5858
堂地	(上地区)きらきら工房駐車場	緑区牧野6854-3
	(下地区)堂地自治会館	緑区牧野6677
大鐘	大鐘生活改善センター	緑区牧野7079-1
小津久	小津久生活改善センター	緑区牧野7903-2
奥牧野	上野原方面の県道	緑区牧野8800
	奥牧野生活改善センター	緑区牧野9193
舟久保	舟久保多目的集会施設	緑区牧野9274
綱子	綱子多目的集会施設	緑区牧野9982
長又	旧長又生活改善センター	緑区牧野11244-1
菅井	旧菅井小学校敷地	緑区牧野11695
	菅井生活改善センター	緑区牧野12126
伏馬田	小俣宅前	緑区牧野12540
	荷矢田農道入口市道	緑区牧野12860-1
	高崎宅裏	緑区牧野12643-1
	伏馬田自治会館	緑区牧野12574-2
小舟	小舟バス停付近	緑区牧野13721
	扇久保バス停付近	緑区牧野13871-2
	小舟集会施設	緑区牧野13889-3
京王住宅	北村宅前駐車場	緑区牧野13985-4
	京王住宅自治会館	緑区牧野13993-1

自治会名	一時避難場所	所在地
竹ノ久保	牧野農村環境改善センター	緑区牧野4232
	藤野南小学校校庭	緑区牧野4327
川上	集落中央防火水槽前	緑区牧野14602-1
	川上多目的集会施設	緑区牧野14649-1
和田	(上)体験センター村の家	緑区佐野川491-1
	(中)佐野川分団第一部詰所横	緑区佐野川653
	(橋詰)清水弁当前	緑区佐野川1607-1
鎌沢	(下組)杉本宅前	緑区佐野川1325-1
	(中組)小山宅前	緑区佐野川1243-1
	(上組)小山宅前	緑区佐野川1222-1
上河原	(下)上河原集会所前	緑区佐野川2155-1
下岩	(西組)石井宅前	緑区佐野川2895
	(西組)佐藤宅前	緑区佐野川2847
	(西組)(有)杉本林業事務所前	緑区佐野川2447
	(下組)(有)杉本林業事務所前	緑区佐野川2447
	(下組)旧笑福亭前	緑区佐野川2346
	(東組)銀の館下広場	緑区佐野川2575
	(東組)岩神社	緑区佐野川2487
	(上組)佐藤宅前	緑区佐野川2469
	(中組)旧下岩消防詰所前	緑区佐野川2480
御霊	御霊集会所	緑区佐野川2963-1
上岩	上岩集会所	緑区佐野川3389-1

## 広域避難場所

施設名	所在地	収容可能人数
藤野中学校	緑区小淵 2082	3,854
名倉グラウンド	緑区名倉 1000	12,009

## 避難所

施設名	対象地区	電話番号
藤野中学校	吉野、小淵	042-687-3019
ふるさと自然体験教室・ 沢井体育館	澤井、佐野川	042-686-6025
藤野小学校	日連、名倉	042-687-2719
藤野南小学校	牧野	042-689-2046

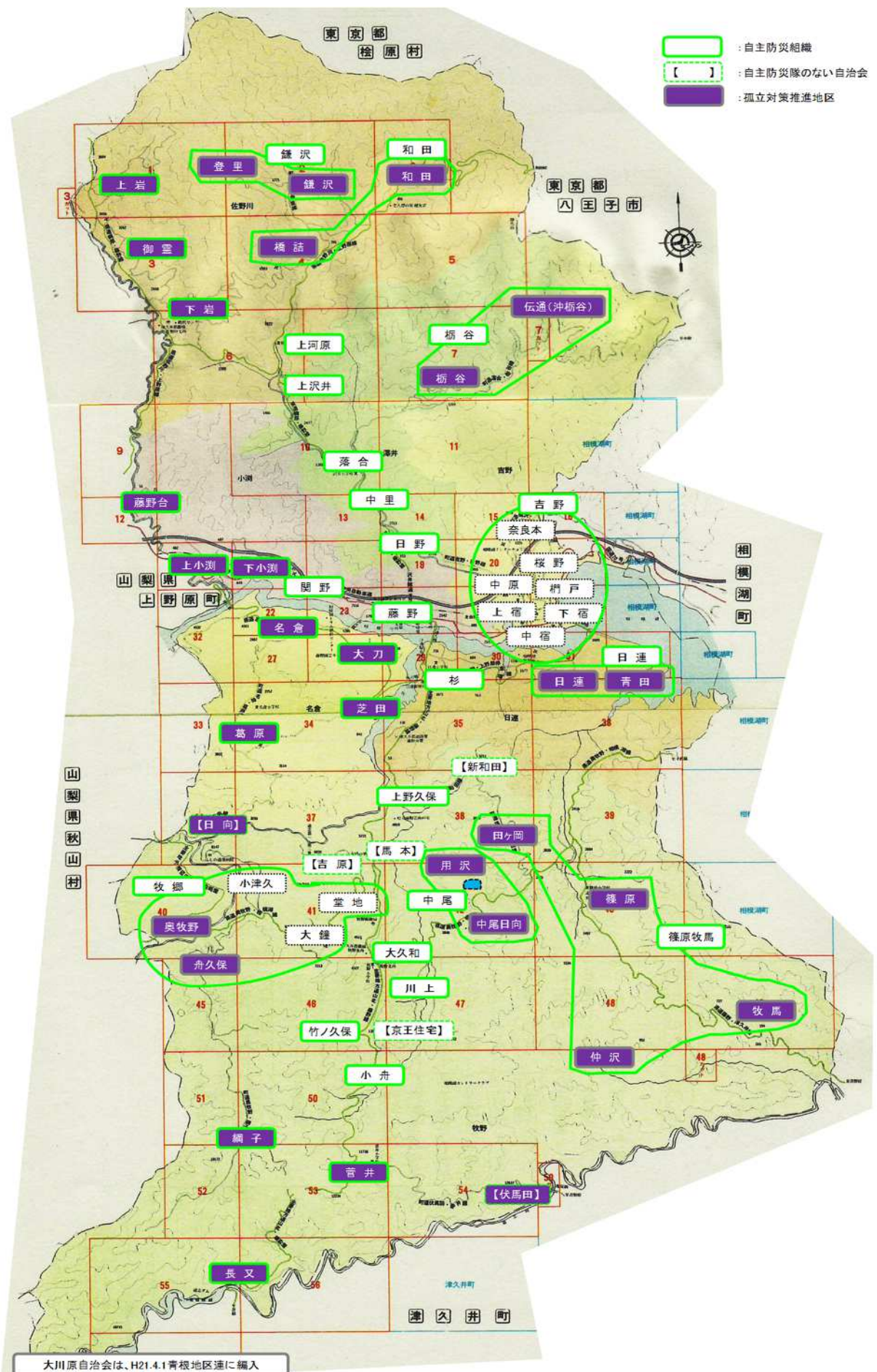
孤立対策推進地区一覧

令和4年4月現在

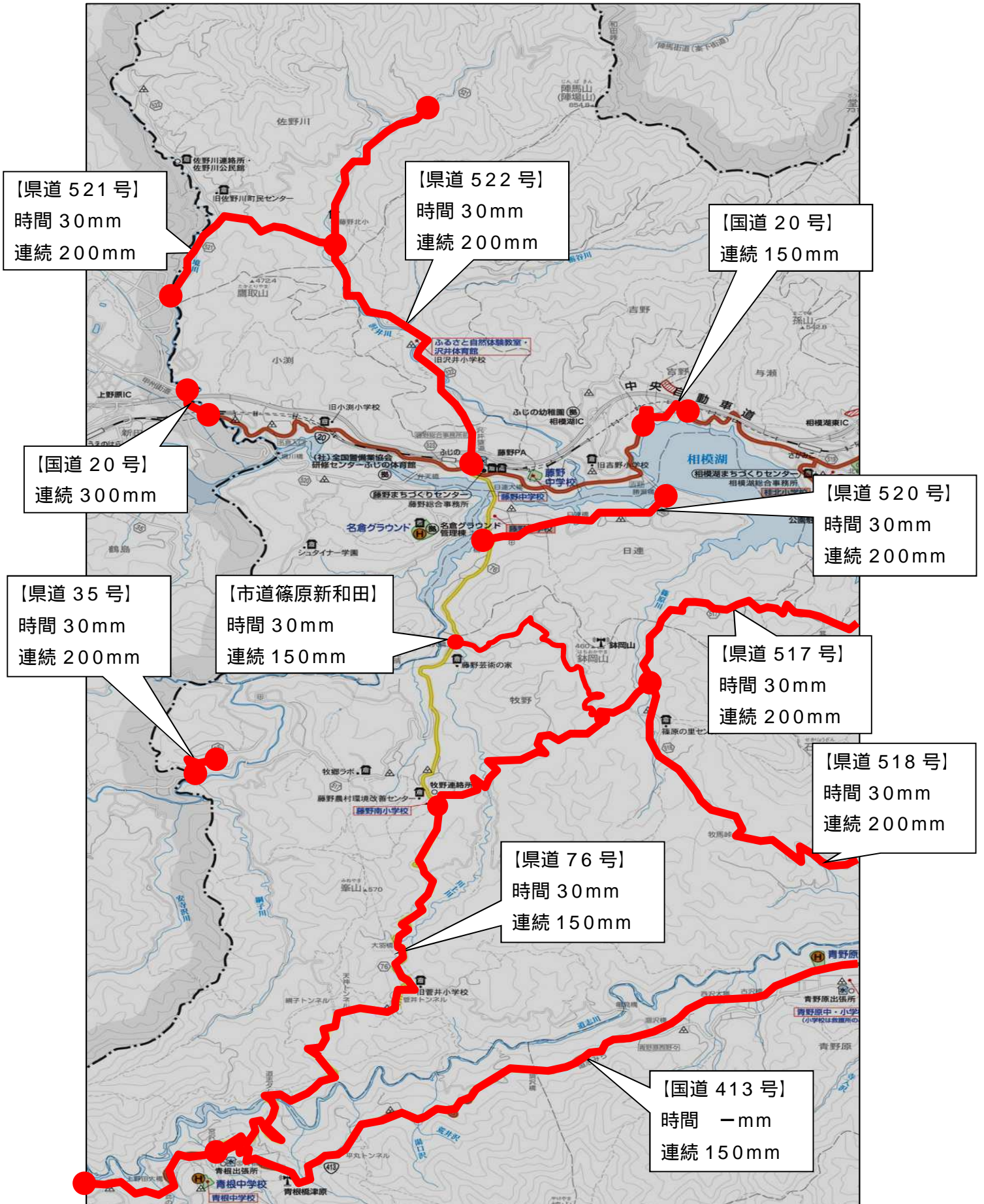
地区名		自治会名	距離が遠い	谷奥に位置する	連絡道路少ない	連絡道路細い	橋梁	特に問題となる点
小湊	藤野台	藤野台	○		○			経路がひとつ
	上小湊	上小湊	○					
	下小湊	下小湊	○					
佐野川	上岩	上岩	○					
	御霊	御霊	○					
	下岩	下岩	○					
	鎌沢	鎌沢	○	○	○			
	登里		○	○	○	○		
	橋詰	和田	○		○			斜面中腹に位置する
和田	○		○	○				
沢井	伝通(沖栃谷)	栃谷	○	○	○	○		
	栃谷		○	○	○	○		
名倉	芝田	芝田	○				○	経路は湖対岸または山地越え
	大刀	大刀	○				○	経路は湖対岸または山地越え
	名倉	名倉	○				○	経路は湖対岸または山地越え
	日向	日向	○					
	葛原	葛原	○					
日連	青田	日連	○		○			
	日連		○					
牧野	綱子	綱子	○	○	○			
	奥牧野	奥牧野	○					
	舟久保	舟久保	○					
	長又	長又	○					
	用沢	中尾	○	○	○	○		
	中尾日向		○					
	伏馬田	伏馬田	○				○	対岸または山地斜面
	仲沢	篠原牧馬	○	○	○	○		
	篠原		○					
	田ヶ岡		○					
牧馬	○							
菅井	菅井	○						

避難所から1km以上の地区

【孤立対策推進地区配置図】



通行規制路線図





## 命を守る防災の知恵

助けられる人より助ける人になろう！  
そのためには自分や家族が災害から生き延びる術を知る。

### [地震が起きる前に！]

備蓄品や非常持出し品を準備しておく。(常備薬や母子手帳も忘れない。)  
家の耐震化。(部屋の耐震用シェルター、耐震用ベッドもある。)  
家具や家電を固定する。  
玄関、廊下に物を置かない。(避難経路を確保する。)  
部屋にスニーカーを用意する。(ガラスの破片から足を守る。)  
停電の準備をする。(明かりや携帯電話の充電用品など)  
家族の集合場所を決めておく。

### [地震が起きたら！]

とにかく頭を守る。(カバンや買い物カゴ、座布団や枕でもよい。)  
古い木造家屋の中にいたら、直ぐに外へ出る。  
家の中の避難場所は、柱と壁に囲まれたお風呂やトイレが安全。(但しドアは開けたまま。)  
倒壊した家に閉じ込められたら、音を出す。(金属を叩くとか笛を吹くとか。)  
避難する時は、石油ストーブなどの火の始末、ガスの元栓と共に、ブレーカーの主電源を切る。  
天井まで火が回ったら、消火せずに直ぐに避難する。  
屋外で地震が起きたら、高いビルや店のショーウィンド、ブロック塀や自動販売機、お墓の石塔や灯籠などに近づかない。  
隣近所への安否確認を忘れない。  
車を離れる時は、ドアにロックせず、キーを付けたままにする。  
デパートや映画館などでは、係員の指示に従う。  
海の近くでは、高台へ避難する。  
ビルの中では、エレベーターを使わずに避難する。  
エレベーターの中で起きたら、直ぐに全ての階のボタンを押す。  
倒壊した家屋には入らない。

### [風水害が起きる前に！]

自分の家の周辺が、風水害の危険個所かどうか調べておく。  
がけ崩れや土石流の前ぶれを知っておく。  
天気予報などで雨量の状態を知っておく。  
怖いと思ったら、避難指示の前でも自主避難する。

## [風水害が起きたら！]

危険な場所から全員避難。避難する時期を逃したり、避難することがかえって危険な場合には、家の中の2階以上の崖から離れた部屋などに移動する。(緊急安全確保)

避難する場合には、長靴より底の厚い運動靴にする。

小さな小川も農業用水も、大雨が降ると、危険な濁流になる。

車のマフラーから水が入るとエンジンが故障する。

車が水没したら、ドアが開くうちに避難する。

発電機は、屋外で運転する。

## [災害アイテム！]

新聞紙は、防寒、吸湿、防臭性がある。

ラップは、包帯代わりにもなる。

レジ袋と清潔なタオルでおむつが出来る。

パンティストッキングは、ロープ代わりにもなる。

お湯とペットボトルと靴下であんかが出来る。

牛乳パックは、お皿やコップの代わりになる。

緊急連絡カード(藤野地域包括支援センターで配布)が避難カードとなる。

## [災害時の安否確認の方法:三角連絡法]

被災地内同士、被災地外から被災地への電話はつながりにくい。ところが、被災地から被災地外への電話は比較的つながりやすい。そこで、遠方の親戚や知人に中継役をしてもらう。被災地内のAが被災地外のBへ連絡し、家族への伝言を依頼する。Aの家族は、災害時にはBの所へ連絡してAの伝言を聞くことにしておく。これで安否確認や必要な連絡ができる。

**記入例** ～世帯に、避難に時間を要する方がいる場合(高齢者等)～ 作成日: ○○年○月○日

風水害に備えよう **マイ・タイムラインシート**

① 自宅(周辺)の状況  川の浸水のおそれあり(浸水の深さ: \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ m)  自宅は...  区域の中  区域の外  
 土砂災害のおそれあり (  がけ崩れ  土石流  地すべり )

② 避難する場所  
 優先① 息子夫婦宅 (避難の方法:  車  徒歩  ) (避難にかかる時間: 30分)  
 優先② ○○小学校 (避難の方法:  車  徒歩  ) (避難にかかる時間: 15分)

③ 避難の目安(タイミング) 市から高齢者等避難が発令されたとき

④ 非常用持ち出し品(避難のときに持っていくもの)  
 息子夫婦宅に行くとき...常備薬、保険証、現金、着替え、洗面道具、携帯電話  
 ○○小学校に行くとき...上記のほか、食べ物、飲み物、懐中電灯、防寒具

時間経過	警戒レベル	なにをする？	
		市からの避難情報	地域の動きや注意すること
2～5日前	1	台風・大雨に関する気象情報(週間天気予報など) 早期注意情報	家族への心構えを高める
	2	大雨・洪水注意報	自らの避難行動を確認
1日前～大雨当日	3	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等の避難に時間のかかる人は避難 自治会長や知り合いに連絡する(息子宅に避難することを伝える) 隣近所の人に避難を呼びかける
	4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 避難指示	危険な場所から全員避難
災害発生	5	大雨特別警報 河川氾濫/土砂災害発生! 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!! 近所の丈夫な高い建物で安全を確保

家族の予定を確認する  
 避難のときの持ち物を確認する  
 土砂災害ハザードマップで避難経路を再確認する  
 息子夫婦に連絡する(避難する可能性)  
 避難の準備を始める(準備にかかる時間: 30分)  
 避難を始める(避難にかかる時間: 30分)  
 避難のときにはブレーカーを落とす  
 自宅のとなりの○○さんに声をかける  
 避難完了!

《警戒レベル4までに必ず避難!》  
 (もし避難できていなかったら何ができる?)

作成日:

風水害に備えよう **マイ・タイムラインシート**

**日頃からの備え**

① 自宅(周辺)の状況  川の浸水のおそれあり(浸水の深さ: \_\_\_ ~ \_\_\_ m)  自宅は...  区域の中  区域の外  
 土砂災害のおそれあり (  がけ崩れ  土石流  地すべり )

② 避難する場所  
 優先① (避難の方法:  車  徒歩 ) (避難にかかる時間: \_\_\_ 分)  
 優先② (避難の方法:  車  徒歩 ) (避難にかかる時間: \_\_\_ 分)

③ 避難の目安(タイミング) \_\_\_\_\_ とき

④ 非常用持ち出し品(避難のときに持っていくもの)

時間経過	警戒レベル	なにをする?	
		気象情報 市からの避難情報	地域の動きや注意すること わたし(と家族)の動き
2~5日前	1	台風・大雨に関する気象情報(週間天気予報など) 早期注意情報	災害への心構えを高める
1日前~大雨当日	2	大雨・洪水注意報	自らの避難行動を確認
	3	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等の避難に待機のかかる人は避難
雨が強まる(数時間前)	4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 避難指示	危険な場所から全員避難
災害発生	5	大雨特別警報 河川氾濫/土砂災害発生! 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!! (もし避難できていなかったら何が出来る?)